

Q 古手川が何かと頼りにする角代表。いつどのような出合いをされたのでしょうか。

A 昨年の夏に初めてお会いしました。経営コンサルタントをしている関係で業務提携をする税理士の紹介でした。兼業している完全無農薬バラ栽培(AQUA-K合同会社)で賃借している土地が突如競売に掛かったのです。地権者の経営難によるものでしたが、この事態を解決してくれたのがグレイスです。同郷であることは後で知りました。

Q 解決の内容とその仕事ぶりの評価をお聞かせ下さい。

A 当然借地人としては事業運営上も継続して利用したいので銀行等各方面を当たりましたが、購入しか途が無い上に競合相手との関係で高額な取得価格に悩まされました。古手川さんは、競合相手の後ろ盾になっている銀行にも乗り込んでくれましたし、管財人にも借地人としての継承の正当性、妥当性を立証してくれました。お陰で数千万円の当初見込み額の十分の一の価格で落札することができたのです。本当に凄いなと思いましたし、事業継続が可能となり助かりました。

Q その出会いから半年ですね。その後お付き合いが深くなりますが、グレイスの評価と印象をお聞かせ下さい。

A グレイスの仕事のスタイルが好きです。まず徹底した追及力、スピード感です。お客様に向き合う姿勢に好感が持てます。仕事柄、弁護士との接触も少なからずありますが、これまでの方達は好きじゃないですね(笑)。気付くといつの間にか上から目線ですが、全くそんな部分が無いんです。それと異色と思うのは提携力です。私もですがフリーランスの仕事をする人々の力を活用して、顧客を抱え

代表取締役社長
角 幸憲様



込むのではなくどんどん紹介をして顧客の役に立とうとする、その姿勢は他の追随を許さないと思います。

Q では、本業であるケイオフィスについてお聞かせ下さい。経産省の「認定経営革新等支援機関」として事業主へ何を提供されるのでしょうか。

A 県商工会議所や中小企業基盤整備機構などのエキスパートにも指名されています。一言で言えばヒモの付かない補助金獲得のお手伝いです。創業時はもちろん現事業で期待される「ものづくり技術」「革新的サービス」を創っていくための指導とその計画を策定させていただきます。設備投資など前向きな資金が経産省補助金として提供される訳ですが、アベノミクスを背景に25年度補正予算も26年度分も積極的です。乗り遅れないでもらいたいです。

Q 鹿児島県のサポートも別枠としてあるのですね。

A その通りです。「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」によりケイオフィスは認定支援機関となっていますが、私共が顧客の事業の経営革新を積極的に進める3~5年計画を策定し、知事がそれを承認する形です。先にお話した補助金とは別に、地元金融機関等からの融資等の支援措置の各種制度を利用することが出来るようになる仕組みとご理解下さい。

Q グレイスのお客様にもお伝えしたいです。

A 圧倒的に中小企業が多い本県。増税で物価高が想定され、経営環境に先行き不透明感があるからこそ、専門家がタッグを組む必要があり、グレイスとも連携して成長する事業を応援していきたいですね。

K-OFFICE

業 種 / 経営指導・企業再生、集客・マーケティング、中小企業施策など補助金・助成金指導、事業承継、人材教育
所 在 地 / 〒899-4332鹿児島県霧島市
国分中央5丁目610国分パティオ2F
代 表 / 代表取締役社長 角 幸憲
創 業 / 平成17年

